

令和6年度普及活動アルバム

上伊那農業農村支援センター

令和6年度を振り返ると、春先から気温が高めで推移したことから、農作物の生育はおおむね順調に進みましたが、梅雨明け以降は猛暑日が続き、多くの品目で高温の影響を受け、品質や収量の確保に苦労した年となりました

このような中、当支援センターでは、重点活動として「水田農業経営体の複合化、新品种・新品目導入による活性化」を位置づけ、麦類や大豆の安定生産・品質向上に向けた支援や、高収益が期待できるアスパラガスの単収向上、ゴマの生産振興やサツマイモ栽培技術の確立等に関係機関と連携して取り組んでまいりました。

一般活動では、新規就農実践塾等による若手農業者への就農支援、環境にやさしい農業の技術指導やスマート農業の普及などを目指した活動を行いました。

普及活動へのご理解とご協力に感謝し、活動成果の一部をご紹介します。



【5月～通年】

新規就農実践塾の開催

新規就農者向けに「新規就農実践塾」を開設し、農業に関する基礎知識・技術の習得を支援しました。

6年度は、基礎、ぶどう専門、野菜専門の3コースを設け、各コースに7名～15名が参加し、座学や先輩生産者のほ場視察、実技研修等による技術習得のほか、講座を通じた仲間づくりに繋がっています。



【6月】

りんごのハダニ類に関する防除検討会の開催

りんご高密度植栽培で問題となるハダニ類の適期防除を図るため、防除検討会を開催しました。

現地で簡易的に発生状況を把握することができる「ビートイング法」を主な内容とし、生産者が自ら発生状況を把握することで適期防除につなげるよう、今後も普及啓発に努めてまいります。



【7月】【重点課題】

アスパラガスの排水性改善による単収向上の取組

水田転換畑におけるアスパラガス栽培では、湿害が問題となる事例が多く、降雨時の排水性を改善するため、エンジンオーガによる縦孔処理を検討しました。

処理1年後までは排水効果がありますが、それ以降は処理前の状態に戻るため、毎年処理することが望ましい結果となりました。



【7月】

高温期の遮光剤散布による切り花品質確保の取組

カーネーションの夏秋切り作型では、高温による品質低下が課題となっているため、遮光剤の塗布による品質向上効果を確認しました。

環境改善（遮光、気温低下）による品質向上効果が確認でき、散布ムラ解消のため、ドローンによる散布も検討しましたが、均一性は良いもののコストが課題となりました。



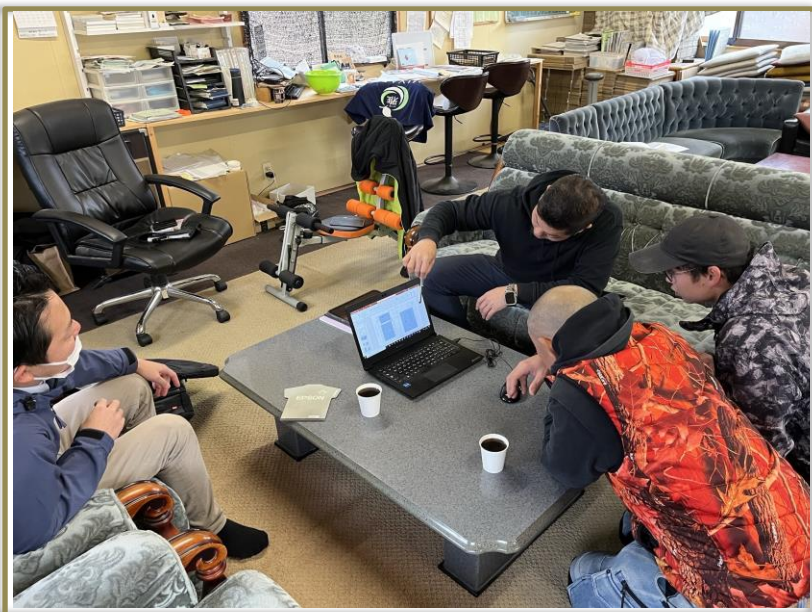
【9月～10月】

鳥獣被害防止対策の取組

野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にある中、ハクビシン等の中型獣の被害防止を図るため、実証展示ほを設置しました。

小規模ハウスの周囲に中型獣侵入防止通電ネット「かたまったくん」を設置しました。

電気柵の設置以降はほ場内への侵入を抑制し、被害をゼロに抑えることができました。



**【10月】
カイゼン手法導入による効率的な経営に向けた支援**

管内の野菜農家を対象として、出荷調整作業の効率化や作業場の有効活用を図るため、カイゼン手法を活用してレイアウト変更等の支援を行いました。

一定の基準を設けて整理整頓を行い、従業員を交えてレイアウト変更する中で、次年度の新たな取組への意欲につながる支援ができました。



**【1月】
農業経営講座の開催**

新規就農者等を対象として、複式簿記の知識習得や経営管理能力の向上を図るため、農業経営講座を開催しました。

講座は上伊那農業協同組合と合同で開催し、19名の受講がありました。農業者が自らの経営の分析・改善を行う上で重要なスキルであるため、今後も経営管理能力の向上を支援してまいります。



**【3月】【重点課題】
大豆の生産安定に向けた
除草剤の体系処理の検討**

大豆生産において、難防除雑草の発生による品質低下や減収が課題となっているため、令和4年度から除草剤の体系処理を検討しています。

継続検討の結果、3剤体系の効果が確認できたため、生産振興検討会において成果を報告し、今後も生産振興に力を入れていくことを関係者で確認することができました。



【5月～通年】

「上伊那の花」認知度向上プロジェクト(花プロ)による花の通年展示

花の大産地である上伊那の認知度を高め、花の需要喚起や生産振興を通じて、花飾りの日常化や花関連産業の拡大、さらには若者の関心を高めるため、「花プロ」活動を展開しました。

花の展示では、上伊那地域の旬の花を合同庁舎に展示し、認知度向上を図りました。



【7月～3月】

花プロ with 上農の取組

上伊那農業高校の生徒を対象に、地元の「花き関連産業」が進路の選択肢になるよう、花プロ事業の一環で5回の授業(座学と現地(ハウスと選花場))を実施しました。

参加した生徒からは、「花を身近に感じることができた」「職業の選択肢の一つになった」等の前向きな意見も聞かれるようになり、取組の効果が始まっています。



【12月～3月】

『「花の大産地上伊那」花カード』の発行

上伊那地域が主産地であるトルコギキョウ(3品種)とリンドウ(6品種)について、花カードを作成・発行しました。

このカードは花(品種)の特徴や生産状況を記載し、併せてQRコードから「花プロ」の専用ホームページへアクセスできるようにし、管内の生花店や、花プロ協力団体のイベントで配布しました。